
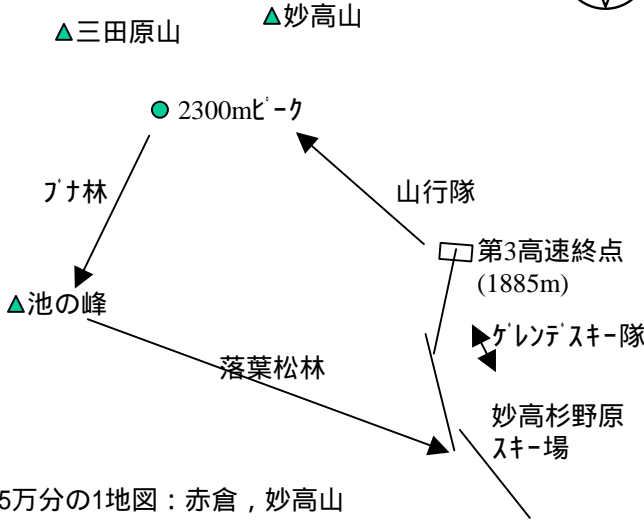


3 例会 個人 山行報告書			報告者		参加 メンバー	CL:藤田 健治, SL:金子 清, 渡辺 勝利, 渡辺 育子, 浜島 弘一, 塚本 英吾, 岸野 照男, 青山 武, 石井 満, 三矢 十 三世, 松中 真理子, 飯谷 洋 子, 上田 正博, 上田 伸江
山域	妙高	山行日	報告日	3月日		
山名	三田原山/ｽｷｰ場		06年 3月 24日(金) ~ 06年 3月 26日(日)			

山行目的	追悼ｽｷｰ山行	コースタイム(天候:天気図記号)
------	---------	------------------

配布先 集会:10 山行:1 リーダー 原紙:集 会担当者	ルート図(地図を見て正確に)		3月24日(晴)	3月26日(晴)
			19:35 厚生年金P発 22:25 駒ヶ岳SA合流 00:45 森茂荘着 3月25日(快晴) 06:30 起床 07:30 朝食 08:30 森茂荘発 10:00 第3ﾊﾞｰ上着 10:30 追悼式典 10:45 山行/ｽｷｰに分隊 ----- 山行 ----- スｷｰ滑走 16:15 2隊合流 スｷｰ滑走 17:30 森茂荘着 18:30 夕食 23:00 就寝	07:00 起床 07:30 朝食 09:30 森茂荘発 12:00 昼食(治部坂 そ ば) 15:30 厚生年金P着

2.5万分の1地図: 赤倉, 妙高山

山行報告

駒ヶ岳SAで藤田部長の1号車, 塚本先輩の5号, 金子先輩の4号合流のあと, 一路森茂荘へ高速をとばす。零時をだいぶ回っていたが, ご主人と女将さんに出迎えて戴き, お二人の温かいお人柄が語らずも知れる。少し飲んで就寝。翌朝部屋の障子から外を覗くと真っ青な空がまぶしく, すばらしい快晴である。前日着の青山先輩はじめ諸先輩とも併せ総勢15名, 朝食後, リフトを乗り継いで1885m(リフト終点)に到着。全員で丹羽先輩, 伊藤先輩, 菅田先輩, 樽井先輩の霊を弔ってお酒を捧げた。ここで山行隊, ゲレンデｽｷｰ隊2隊に分かれる。

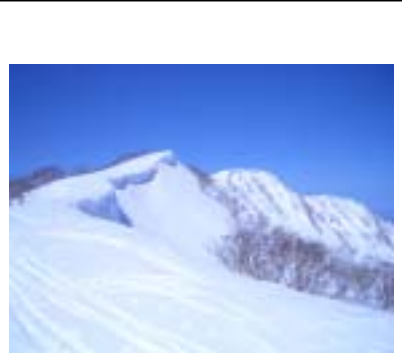
山行隊; ゲレンデ上部でｽｷｰ隊と別れ, 青山, 岸野(トヨタ) 渡辺, 藤田, 金子の5名で三田原山をめざす。雲ひとつ無い晴天で頂上からのｽｷｰ大滑降をイメージしながら急斜面を汗だくで登る。振り返ると黒姫山が大きく見え, 素晴らしい展望である。

約1.5hで外輪山の稜線にでると, 正面に妙高本峰がそそり立っている。稜線には山ｽｷｰ, ボーダー客で賑わっている。稜線から三田原山までは雪庇に注意しながら行く。頂上でシールを外し, 登ってきたルートを華麗なシュプールを描きながらｽｷｰ場までいっきに下る。

ゲレンデ隊; 三田原エリア上部の第3リフト下は適度に締まった雪質であったが, 高度が下がると雪がだいぶ重い状況。この晴天ではやむを得ないと思われる。再び第2リフトを上がり, 杉野原エリアのゴンドラ乗り場を目指して下る。ざら目雪に手こずりながらも, 各人好調の様子。途中, 見晴らしの利く中腹から南に展開する山並み(志賀高原方面?), 手前に野尻湖が見て取れた。何よりも天気感謝である。ゴンドラから再び三田原エリアに戻り, 早めの昼食とした。

午後の休憩後, 山行隊とゴンドラ山頂駅で合流して, 下山ｽｷｰ。森茂荘での美味しい夕食を戴きながら, カラオケ大会となる。ご主人の声をお聞きできなかったのは少し残念ながら, 部員全員で楽しんだ。

<リーダー所見>
10回を数える開催で今回は15名の大勢で追悼ｽｷｰ山行を進めることができた。念願であった三田原山からの滑降では途中2Pに別れ, 渡辺・藤田は落葉松林コースを滑り全員が春ｽｷｰを堪能することができた。



外輪山から三田原山

確認
(リ-ﾀﾞｰ)
藤田
06/04/11

確認
(リ-ﾀﾞｰ)

作成
(報告者)
江頭
06/03/27